

# ぎふの木フェスタ2019に出展

— 県木連、木推協、産直住宅協会で2ブース出展 —

11月2日（土）3日（日）の2日間 岐阜メモリアルセンター芝生広場で開催された「ぎふの木フェスタ2019」に、県木連、木推協、産直住宅協会が出展しました。県木連はパネル展示、パンフレットや粗品配布でのJAS製材品、東濃桧等のPR、木推協は無料親子木工教室、産直住宅協会は住宅相談会を開催し、木材利用推進活動を行ないました。

無料親子木工教室では、ひのき材で本棚作りを大人と子供でやってもらい、108組、303人の参加がありました。木材利用に関するアンケート調査にも協力頂きました。消費者への県産材のPRや県産材利用に関する意見を聞くことができました。 (鍵谷)



出展の様子



木工教室の様子

## ○アンケート実施内容（抜粋）

質問1：みんなをしあわせにするために、ぎふの山がどんなふうになったらいいか

（回答）

- ・緑いっぱい、四季が感じられるとよいです（大人）
- ・間引きをして、木を大きく育てるといい（子供）
- ・減ったらだめ（子供）
- ・みがいっぱいになってほしい（子供）
- ・木が沢山あってほしい（子供）
- ・ウォーキングできるように、たくさんの山を工夫してハイキングコースを作っていく（子供）
- ・ムダに切らない。ばっさいして住宅地とかになると悲しい（大人）
- ・オーナー制度（大人）
- ・大人が自然を大切にする（大人）
- ・開発はしない。動植物の楽園となるよう整備する。広葉樹を沢山植える（大人）
- ・生まれた時に一人一本木を生えるといった活動。大人になって子供ができた時も続く。木と一緒に成長する（大人）

質問2：ぎふの木をつかってもらいたい。どうしたらよいか

（回答）

- ・この様なイベントを多く開催される事を望みます（大人）
- ・家、ゆうぐ（子供）
- ・木でいろいろなものをつくるイベントをつくる（子供）
- ・岐阜の木の良さをまとめ、ピッタリあう物をつくる（大人）
- ・木の学校を作る（たてる）ロッカー、つくえ、いすも（子供）
- ・つみ木などにして、幼稚園や保育園、病院に寄付してくれるとうれしい（大人）
- ・今回のように木の良さをアピールするイベントがあるととてもいいと思う（大人）

